

令和8年産小麦 栽培情報 1月号

令和8年 1月
川越農林振興センター
JA いるま野 販売推進課

○8年産麦 播種は遅れ傾向、12月播きは出芽・初期生育遅れ！



11月は平年並みの気温で降雨もほとんどなく経過したが、全体的に播種は遅れ11月25日までの適期播種は約30%で12月にずれ込んだほ場が多い。12月播きは低温と乾燥で出芽、及び初期生育が遅れています。

1月15日気象庁発表の1か月（1月17日～2月16日）予報によると、向こう1か月の気温は寒気の影響を受ける時期があるため平年並みか低く、前半はかなり低い。降水量は少なく、日照時間は多い見込みです。

～ 長期予報に対応した品質・収量を高める麦づくりをしましょう!! ～

1～2月のポイントは、『麦踏み』と『雑草防除』です

ポイント1 『麦踏み』は 有効茎(穂)を増やす 重要な作業!!

(1) 2葉期が過ぎたら、第一回の麦踏みです。

『分けつ（茎葉数…穂数・収量確保）』を促すために、適宜の麦踏みを実施しましょう。ただし、土が湿っている場合は、麦踏みは避けましょう。

(2) 第二回目以降の麦踏みは、前回から2週間以上間隔を空けて実施します。降霜対策のためにも、効率良く作業ができるように心がけましょう。

ポイント2 生育初期の『雑草防除』が大切!!

(1) 雑草防除を徹底しましょう。

土壌処理が出来なかった場合や雑草が残った場合は、1月中に茎葉処理剤で防除を徹底しましょう。（雑草が大きくなると効果が弱い!!）

雑草の多発は、生育不良・雑草種子の混入が問題になります。

※ 追肥時のほ場巡回を、今年度も JA 販売推進課と農林振興センターで実施を予定しています。巡回日程が決定次第、担当地区推進員よりご連絡致します。

令和 8年産麦作期間の気象図(観測地:さいたま アメダス値)

令和8年1月15日現在

